

ニカラグア定期報告（2019年12月）

【要旨】

内政・外交面では、市民同盟と UNAB が合同で選挙法改革案の発表を行い、保守党が国会から離脱した。また、91名の政治犯が解放された。経済面では、米国によってラファエル・オルテガ氏の所有・運営する DNP ペトロニック、ゴリアット、ザンジバールの3社が制裁に指定されたが、オルテガ大統領による緊急動議要請により、国会を通じて DNP ペトロニックの国有化が決定した。

【主な出来事】

1 内政・外交

(1) 反政府側の選挙法改革案発表

12日、市内のショッピングセンターに併設するホテルにおいて、市民同盟と UNAB が合同で選挙法改革案の発表を行った。また、選挙改革の前提として政治犯の解放が主張された。選挙改革案のポイントは以下のとおり。

ア 市民社会からも最高選挙管理委員会（CSE）メンバーを選出できることとし、また同メンバーの質を保証するための手続きを設立する

イ 地方選挙において、政党に所属していなくとも、市民の署名に基づいて立候補することを認める

ウ 最高選挙管理委員会（CSE）の決定を監視するための、専門裁判所を創設する

エ 政党に関する新たな法律を立法する

(2) 政治犯の母親等による反政府デモ

12日の市民同盟と UNAB の発表後、同ショッピングセンターの駐車場において、政治犯として収監されている者たちの母親等が反政府デモを行った。それを包囲していた警察官との間で衝突が発生し、複数名の市民や反政府系メディアが警察や狂信的なサンディニスタ信者から殴られる等の暴力を受けた。暴力を受けた者の中には市民同盟のファン・セバ스티アン・チャモロも含まれていた。

(3) ニカラグア・露外交75周年

ロシア下院議員副議長 Olga Epifanova は Andrei Vladimirovich Budaev 駐ニカラグア露大使とともに、ニカラグア・露外交75周年記念式典を実施し、ムリージョ副大統領に記念勲章を贈呈した。また、ニカラグア・露友好の日特別セッションに参加するため国会を訪問した。

(4) 保守党の国会離脱

18日、保守党が国会から離脱する旨発表した。

(5) 91名の政治犯の解放

30日、ムリージョ副大統領が「国民の和解」を進めるためとして91名の政治犯の解放を発表し、同時に内務省が「家族との共生のための特別措置 (Regimen Especial de Convivencia Familiar)」として関連する義務及び責務を果たすとの条件の下で家族の元に返される91名の政治犯の氏名を発表し、同日夕方直ちに91名が解放された。

(6) 「西サハラ」第15回ポリサリオ戦線会合へのニカラグア参加

ニカラグアは、19日から21日にかけてサハラ・アラブ民主共和国において開催された第15回ポリサリオ戦線会合に参加した。

(7) モンカダ外相の外遊

○コンゴ民主共和国 (2日)

モンカダ外相とモハメッド・ラシタルアフリカ担当大統領顧問はマリー・トゥンバ＝ンゼザ外務大臣と会談した。

○ナミビア共和国 (3日)

モンカダ外相とモハメッド・ラシタルアフリカ担当大統領顧問はクリスティーヌ・ホエベス国際関係・協力省大臣立ち会いの下、サーラ・クーゴングルワ＝アマディーラ首相を表敬した。

○ボツワナ共和国 (5日)

モンカダ外相とモハメッド・ラシタルアフリカ担当大統領顧問はKabo Neale Morwaeng 国務大臣立ち会いの下、モクウィツィ・マシシ大統領を表敬した。

○モザンビーク (6日)

モンカダ外相とモハメッド・ラシタルアフリカ担当大統領顧問はIsac Massaby 国際関係・協力省企画部長立ち会いの下、ジョゼ・パシェコ 国際関係・協力省大臣を表敬した。

○アルゼンチン (10日)

モンカダ外相とオーランド・ゴメス駐アルゼンチンニカラグア大使は、アルベルト・フェルナンデスアルゼンチン大統領及びクリスティーナ・フェルナンデス副大統領の就任式典に出席した。

○ロシア (13日)

モンカダ外相は、モヒカ運輸インフラ大臣、ラウレアノ投資振興機構顧問 (オルテガ大統領の三男)、アルバ・トーレス駐露ニカラグア大使らとともにセルゲイ・ラブロフ外相と会

談した。同ニカラグア代表団はモスクワで行われたニカラグア・ロシア外交75周年記念式典に出席した。

○カタール（14～16日）

モンカダ外相，モヒカ運輸インフラ大臣，ラウレアノ投資振興機構顧問，モハメッド・ラシタルアラブ担当大統領顧問の4名がニカラグア外交団としてドーハフォーラムに出席した。同ニカラグア代表団は，Sheikh Mohammed Bin Abdulrahman Al Thani 外相と会談した。また，同代表団はカタール投資局，カタール国際協力基金，Ibrahim Bin Saleh Al Naimi カタール教育省次官，Jassim Bin Saif Ai Sulaiti カタール運輸・交通大臣とも会談した。

○イラン（15日）：カタールで会談

カタールで開催されているドーハフォーラムに出席しているモンカダ外相，モヒカ運輸インフラ大臣，ラウレアノ投資振興機構顧問，モハメッド・ラシタルアラブ担当大統領顧問ら4名は，ジャヴァード・ザリーフイラン外相と会談した。

○UAE（17～19日）

モンカダ外相，モヒカ運輸インフラ大臣，ラウレアノ投資振興機構顧問，モハメッド・ラシタルアラブ担当大統領顧問ら4名は，Abdullah Bin Zayed Al Nahyan 外務大臣と会談した。また同ニカラグア代表団は，Abdullah Al Nuaimi インフラ開発大臣及び Ahmed Bin Mohamed Al Jarwan 寛容と平和のための世界会議代表と会談を行った。さらにドバイ国際博覧会（EXPO2020）本部を訪れ，Najeed Mohammed Al-Ali 事務局長と会談した。

（8）ニカラグア外交関係の開設実績

ここ4ヶ月でニカラグア政府が開設した外交関係の実績（10カ国）は以下のとおり。

ミクロネシア連邦 12月11日

ルワンダ 11月8日

カメルーン 11月1日

トーゴ 10月23日

ナウル 10月18日

コモロ連合 9月18日

エスワティニ王国 9月17日

ジブチ 9月9日

モナコ公国 9月4日

ニジェール 8月8日

(9) 日本との外交

○甘楽町・ニカラグア友好郵便切手の発行

10日、ニカラグアとオリンピックホストタウンである甘楽町との友好を記念して日本で郵便切手が発行された。

○我が国の捕鯨政策への支持

23日、日本の捕鯨政策について説明するため、鈴木在ニカラグア日本大使はジャクソン水産庁（INPESCA）長官と会合した。

(10) その他

○反政府側関係者との銃撃戦による警察官死亡事案の発生

11月30日昼、マサヤ県マサヤ市内において「凶器使用の強盗被害」の電話通報に基づき警察官が臨場したところ、犯罪グループ「チェベロ」と銃撃戦となり警察官2名が死亡した。グループのリーダーであるホセ・イサイアス・ウガンテ・ロペス、通称「チャベロ（注：グループと同名）」は逃走した。1日午前10時頃、警察は街道を車両にて逃走中の被疑者を発見、銃撃戦となり、被疑者ほか2名を射殺した。

○在ニカラグア日本大使館付近での強盗殺人事件の発生

7日、在ニカラグア日本大使館付近に所在するイタリア料理店等を営むイタリア人経営者等2名が、同店舗の警備員等により殺害され、現金・携帯電話等を強奪される事件が発生した。

○高級ショッピングモール「ガレリア・サント・ドミンゴ」直近のレストランにおける銃撃事案の発生

15日、マナグア市に所在の高級ショッピングモール「ガレリア・サント・ドミンゴ」直近のレストラン「La Plaza El Establo」において、喧嘩を端にした外国人2名（メキシコ及びグアテマラ国籍）が銃撃される事案が発生した。

(11) 世論調査結果

世論調査会社M&R Consultores 社が、11月24日～12月3日に行った世論調査結果を発表した。同調査結果概要は以下のとおり。

ア 支持政党

○FSLN

強く支持： 44.0%

支持： 8.0%

計： 52.0%

○野党

強く支持： 3.5%

支持： 20.4%

計： 23.9%

○分からない・無回答 24.1%

イ FSLNの取り組みにどのような感情を抱くか

希望： 59.2%

絶望： 33.4%

分からない・無回答： 7.4%

落ち着き・安定： 57.8%

不安・心配： 36.3%

分からない・無回答： 5.9%

安全： 57.7%

治安悪化： 36.6%

分からない・無回答： 5.7%

ウ 次期総選挙において投票に行くか

絶対に投票する： 60.0%

たぶん投票する： 17.2%

たぶん投票しない： 2.2%

絶対に投票しない： 7.9%

分からない・無回答： 12.7%

エ 本日総選挙が開催されるとしたらFSLNに投票するか

投票する： 37.0%

投票を考慮する： 17.7%

現在は選択肢に無い： 13.2%

如何なる状況にあらうと投票しない： 17.4%

分からない： 14.7%

オ 本日総選挙が開催されるとしたら野党若しくは反政府グループに投票するか

投票する：	7. 6%
投票を考慮する：	13. 2%
現在は選択肢に無い：	23. 0%
如何なる状況にあらうと投票しない：	36. 3%
分からない：	19. 9%

カ ニカラグアのためにより良い選択肢は以下のいずれか

FSLN政府：	50. 7%
野党政府：	15. 5%
いずれでもない：	13. 2%
分からない・無回答：	20. 6%

キ 総選挙を想定した場合、自身に成功の機会を与えてくれるのは

FSLN：	51. 3%
野党：	16. 2%
いずれでもない：	32. 5%

ク 総選挙を想定した場合、自身の子どもにとってよい機会を与えてくれるのは

FSLN：	51. 7%
野党：	16. 1%
いずれでもない：	32. 2%

ケ 総選挙を想定した場合、自身の両親にとってよい機会を与えてくれるのは

FSLN：	51. 8%
野党：	16. 1%
いずれでもない：	32. 1%

コ 総選挙を想定した場合、自身に雇用の機会を与えてくれるのは

FSLN：	52. 2%
野党：	16. 2%
いずれでもない：	31. 6%

サ 総選挙を想定した場合、自身に住居獲得の機会を与えてくれるのは

FSLN：	53. 2%
野党：	15. 7%
いずれでもない：	31. 1%

シ 総選挙を想定した場合、自身に無償医療の機会を与えてくれるのは

F S L N :	53.9%
野党 :	15.8%
いずれでもない :	30.3%

ス 総選挙を想定した場合、自身に無償教育の機会を与えてくれるのは

F S L N :	53.8%
野党 :	16.0%
いずれでもない :	30.2%

セ 選挙の際、F S L Nに対して

強く支持票を投じる :	45.3%
支持票を投じる :	9.7%
おそらく支持票を投じる :	10.1%
反対票を投じる :	16.8%
必ず反対票を投じる :	14.6%
分からない :	3.5%

ソ 選挙の際、野党に対して

必ず支持票を投じる :	14.6%
支持票を投じる :	7.9%
おそらく支持票を投じる :	8.9%
反対票を投じる :	19.8%
必ず反対票を投じる :	45.3%
分からない :	3.5%

タ 選挙における潜在的支持票獲得率

F S L N :	45.3%~65.0%
野党 :	14.6%~31.4%

2 経済

(1) 米国のラファエル・オルテガに対する制裁

12日、米財務省外国資産管理室（O F A C）は、大統領令13851号に基づき、オルテガ大統領夫妻の長男ラファエル・オルテガ・ムリージョおよび彼自身の所有・運営する以下の3社を制裁対象に指定した。

ア D N P ペトロニック（石油配給会社）

イ ゴリアット（警備会社）

ウ ザンジバル（投資会社）（注：マネーロンダリングを担っていたと報じられている）

今回の制裁により、米国内もしくは米国人が保有・管理する当該企業あるいはそれが直接・間接的に過半数を保有する法人の全資産および利益が制限され、OFACに通報される。OFACの規制は、一般的に米国民もしくは米国内（米国経由を含む）における、当該指定された法人のすべての資産ないし利益に関する全ての取引を禁じるものである。

（２） DNP ペトロニックの国有化

14日、国会は、オルテガ大統領による緊急動議要請により、DNP ペトロニックの国有化法案を賛成73票、反対13票、棄権2票で可決した。当国におけるガソリン・ディーゼルの主要輸入企業であるDNP ペトロニックが米国から制裁されたことによって生じる当国の石油供給不足を避けるのが同法案の目的である。同法案可決により、政府資金によるDNP ペトロニックの国営化が認可された。

（３） 米国 Eximbank による対ニカラグア輸出保険・保証サービスの提供停止等の措置

17日、米国の輸出促進を目的とした公的機関である米国輸出入銀行（Eximbank）は、ニカラグアに輸出している米国企業に対して保険・保証のサービスを提供しないことを決定した。同銀行は、貿易信用リスクを許容できない米国輸出企業に対して保険・保証サービスを提供することで、当国を含む海外への米国製品の輸出を促進している。しかし、23日より当国向けに輸出を行う場合、対象企業は同保険・保証サービスを楽しむことができない。また、Eximbank は、ニカラグアを支援制限対象国（CLS: Country Limitation Schedule）に指定した。

（４） コリント港の技術面・オペレーション面の改善プロジェクトの進捗状況及び BCIE による同プロジェクトに係わる予算及び用途

ニカラグア政府は、コリント港において、BCIE の融資を受け、クルーズ船ターミナル建設を実施する。国家湾岸公社（EPN）は、26日積み込み用機械、トラクター等同計画に必要な機材を導入した。

中米経済統合銀行（BCIE）による同プロジェクトに係わる予算及びその用途は以下の通り。総予算は、約1億5,352万米ドルである。

ア 工事に係わる購入物：約9,798万米ドル

（ア） ターミナル建設及び補強 5,617万米ドル

（イ） 事務所建設及び再整備 1,233万米ドル

- (ウ) 浚渫工事 471万米ドル
- (エ) サンイシドロ（ロジの拠点地でコリント湾から10km）の建設 2,475万米ドル

イ 財に係わる購入物：約4,868万米ドル

- (ア) 港関連物品 3,280万米ドル
- (イ) 運送関連物品（バス、トラック等） 65万米ドル
- (ウ) オートメーション化に伴う必要物品 95万米ドル
- (エ) パソコン等必要物品 34万米ドル
- (オ) サイロ等ターミナル必要物品 1,313万米ドル
- (カ) 建設作業工具等 80万米ドル

ウ サービスに係わる購入物：約685万米ドル

- (ア) 外部工事監督費 605万米ドル
- (イ) 会計検査契約費 80万米ドル

(5) ニカラグアのビジネス環境

世界銀行の発表した報告書「ビジネス環境の現状2020 (Doing Business 2020)」によると、2019年度のビジネス環境ランキングにおいてニカラグアは190カ国中142位である。同報告書は、各国・地域のビジネス環境を10の分野（起業のし易さ、建設許可、電力事情、不動産登記、金融アクセス、小規模投資家保護、納税、貿易、契約執行、破綻処理）で評価しており、ニカラグアはとりわけ建設許可及び不動産登記の分野において低評価である。ラテンアメリカにおいてニカラグアは、ベネズエラ（188位）、ハイチ（179位）、ボリビア（150位）に次いで悪い評価を受けた。

<主要経済指標>

	2017年	2018年	2019年		
			10月	11月	12月
インフレ率（対前年同月）	5.7%	3.9%	未発表	未発表	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲3,049.5	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表
輸出FOB（百万ドル）	2,548.3	2,516.9	未発表	未発表	未発表
輸入FOB（百万ドル）	5,597.8	4,829.4	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,390.8	1,501.2	未発表	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,757.8	2,261.1	2,317.3	未発表	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）